

近代美術館入門講座(第1回)

もはやない国のかつてない光 東ドイツの女性写真家たち



第二次世界大戦ののち、東西に分断されたドイツ。1990年の再統一によって消滅したドイツ民主共和国(東ドイツ)で女性が写真家としてキャリア形成し、自身の芸術表現としても優れた作品を手がけたことは、ドイツ写真史の再考において見過ごされてきた視点といえます。

ベルリンのラインベックハレン財団が管理するヴィンテージ・プリントを中心に、当時、あるいは現在も重要な作家として活動する15人の女性写真家を紹介する本展は、かつて存在した国で社会と日常の光景に注がれた繊細な視線と確かな技術に注目し、それらの作品が視覚文化に果たした役割を考えるものです。

ウーテ・マーラー 《モード写真：水中のユーリア、レーニッツ、1979年》
1979/2025年 © Ute Mahler, Courtesy Looock Galerie, Berlin

日時：6月24日(水) 10:00~11:15

会場：逗子市役所 5階会議室

講師：三本松 倫代 さん(神奈川立近代美術館 葉山)

■申し込み：6月3日(水)以降、①氏名②住所③電話番号を
電話・ファクス・Eメールで、社会教育課へ(又は社会教育課窓口)

※ファクス、Eメールは3日以内に返信がない場合、お問い合わせください。

※手話通訳・要約筆記は、6月12日(金)までに申し込んでください。

【定員】20人程度 【費用】無料 【持ち物】筆記用具

告知ホームページはこちらの二次元コードから→

お申込み・お問合せ先：逗子市教育委員会 社会教育課

TEL 046-873-1111 FAX 046-872-3115 メール syakaikyoubu@city.zushi.lg.jp

